



道しるへ

令和4・8
No.62

「この道の向こうには、夢がある」



●あいさつ・新役員紹介	P. 2
●ヤングケアラー総合支援センター・子ども料理教室	P. 3
●いきいきふれあい事業・知事と新入学児童のつどい	P. 4
●こどもの居場所づくり事業	P. 5
●支会からこんにちは	P. 6
●知っとコーナー	P. 7
●おしらせ・あとがき	P. 8



「信頼・つながり・お互いさま」

京都府母子寡婦福祉連合会 会長 佐竹 幸子

今年6月の理事会で理事の互選により会長に再任されました。2年前からコロナ感染症が流行し、例年の活動が自粛され十分な活動はできませんでした。力不足ではありましたが、再度皆様の御協力を得ながら精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年、一昨年とコロナ禍で計画した行事は中止、延期又は縮小して開催しました。現在、「こどもの居場所」は参加者とのつながりを持ちつつ、様子をみながら開催しています。皆と会えることに喜びと安心感を得、顔を見て話ができる幸せを身をもって体験しました。「いきいきふれあい事業」では、今までの企画を再考し、感染症対策を徹底、工夫して行いました。役員や会員の皆様には苦勞をかけておりますが、『信頼・つながり・お互いさま』の気持ちをもって活動していただきたいと思ひます。

さて、コロナ禍の厳しい社会経済情勢の中、ひとり親家庭の自立への道は益々厳しさを増しています。このような中、京都府は緊急支援策としてこどもの居場所を通じ食料品・生活必需品配布事業にも目を向けていただきました。雇い止めや時短、休業により収入が激減したひとり親家庭の方々は大

変助かり、喜びの声が多く届いています。また新会員の獲得につながった支会も多く、喫緊の課題であった会員減少も緩和されました。先輩が築かれた母子会の良い面を伝え続け、子ども達の夢と希望に満ちた健やかな成長を願ひ、ひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を実現すべく、市町村との連携及び地域に根ざした活動を母子と寡婦が手を取りあつて一歩ずつ歩んで参りましょう。

今年の4月28日には京都テルサ内に「ヤングケアラー総合支援センター」が開設され当母子連に委託されました。国の調査では小学6年生の6.5%（約15人に1人）が「世話をしている家族がいる」と答えるなど全国的な課題となっております。広報や啓発冊子等を早急に整備する等業務は山積してありますが、職員一同、力を合わせて職務を遂行しているところです。関係機関の皆様御協力をお願いします。

最後になりましたが、京都府の西脇知事様はじめ、府市町村関係者及び各種団体の皆様には、母子寡婦福祉に深い御理解と温かい御支援をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

今後とも御指導いただきますようよろしくお願いいたします。

新役員紹介

～令和4年度 連合会の役員が改選されました～

京都府母子寡婦福祉連合会 評議員

- 中瀬 惇 (元京都府社会福祉審議会児童福祉専門分科会委員長)
- 中井 敏宏 (京都府社会福祉協議会常務理事)
- 白石 真古人 (京都新聞社会福祉事業団常務理事)
- 久保 恭子 (京都府民生児童委員協議会副会長)
- 東 美佐子 (前京都府母子寡婦福祉連合会会長)
- 平 清美 (前京都府母子寡婦福祉連合会母子部長)
- 磯貝 英雄 (元京都府ひとり親家庭自立支援センター副センター長)
- 水島 幸子 (元京都府健康福祉部家庭支援課長)

京都府母子寡婦福祉連合会 役員

- 理事(会長) 佐竹 幸子 (長岡京市 支会長)
- (副会長) 梅田 豊子 (京丹後市 支会長)
- (副会長) 谷山 和子 (京丹波町 支会長)

- 小木曾 扶美代 (城陽市 支会長)
- 小玉 光子 (木津川市 支会長)
- 常塚 朋子 (舞鶴市 支会長)

常務理事 白 数 宗 雄 (京都府母子寡婦福祉連合会事務局長)

- 監事 小塩 康次 (元京都府母子寡婦福祉連合会理事・事務局長)
- 小川 修平 (小川会計事務所代表 税理士)

母子部役員

- 母子部長 鱈 朋子 (宇治市 支会 母子連絡員)
- 副部長(北部) 森本 真理子 (舞鶴市 支会 母子連絡員)
- (南部) 神村 有美 (綴喜 支会 母子連絡員)
- (中部) 平田 栄美子 (南丹市 支会 母子連絡員)

京都府ひとり親家庭自立支援センター相談員の異動

※新任※ 徳永 浩光 よろしくお願ひいたします。

京都府ヤングケアラー総合支援センター開設にあたって

京都府健康福祉部家庭支援課参事 能勢 文音

最近よく耳にするようになったヤングケアラー。法令上の定義はないものの、厚生労働省のHPでは「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども」とされています。令和2年度に国が行ったヤングケアラーの実態調査の結果を京都府に換算すると府内には約6,600人のヤングケアラーが存在すると推定されます。そこで、京都府では本年4月28日に、ヤングケアラー総合支援センターを京都テルサ内に開設し、その運営を京都府母子寡婦福祉連合会に委託しました。

以前から家事や家族のお世話をする子どもはいましたし、家族で助け合うことは当たり前と思われるかもしれませんが、しかし、年齢等に見合わない重い責任や負担を負うことで、学校に行けなくなったり、心身に影響が出る場合があります。そうなる前の早い段階で気づき、支援につなげる必要があります。

日頃から子どもやその家族と接する機会が多い母子連の皆様は行政機関よりも子どもたちにとって身近な存在です。もしヤングケアラーと思われる子どもを発見したら、まずは子どもの気持ちに寄り添って、話を聞いてあげてほしいと思ひます。まわりの人が気づき、声をかけ、手を差し伸べることで、ヤングケアラーが「自分は一人じゃない」「誰かに頼ってもいいんだ」と思える、そんな社会になれたらと思ひています。センターでは、支援者からの相談も受け付けています。どうぞよろしくお願いいたします。



わたしたちができること

お話をきいて、まずは困っていることを一緒に考えます。
必要であれば、助けになるサービスが受けられるようにお手伝ひします。

いいにくいことは、
いわずに聞いてほしい

京都府ヤングケアラー総合支援センター
TEL : 075-662-2840

相談時間：月～土曜日 10:00～18:00
(日曜・祝日・12月29日～1月3日休み)
※18歳以上の方、元ヤングケアラーの方、家族の方でも相談できます。

母子会にご理解・ご支援いただきありがとうございます

もったいないフードロスをなくそう～子ども料理教室～ 京都洛西ロータリークラブ

令和4年5月28日(土)、京都洛西ロータリークラブ辰馬雅子会長様から「もったいないフードロスをなくそう 子ども料理教室」にご招待いただき、当会からも参加しました。

亀岡市母子寡婦福祉会 会員

親子でフードロスについて学び、また京都の野菜のことなど知ることができ、実際に試食をいただいたりと、楽しい時間を過ごすことができました！
包丁で形の曲がったキュウリを切り浅漬けにしたり、アイスプラントという野菜も初めて食べて、その美味しさにびっくりでした！
そして、普段魚が食べられない息子もカレーに入っているロスフードの魚をペロリ！たくさん食べて、大満足でした！
楽しい学びの時間を親子で参加できて、とてもいい一日になりました。ありがとうございました。



カレーに焼いた九条ネギとトウガラシを添えて

新しい形のいきいきふれあい事業

亀岡市母子寡婦福祉会 廣瀬 和実

今回、いきいきふれあい事業を行うにあたって、地元の亀岡運動公園でニジマスのつかみ取り&釣り大会をさせていただけることになりました。
子どもたちは魚が飲み込んだ針を外すのに苦労したり、浅めのプールでは子どもたちは魚を追いかけて大はしゃぎでした。
取った魚(ニジマス)を持って帰れることになりました。またまた子どもたちは大はしゃぎで、持って帰ったニジマスは親子でさばき、塩焼きやフライになり、全部おいしくいただきました。一日を通し、親子のふれあいの時間が作れました。
ジャンボしゃぼん玉と花火のプレゼントもいただきました。かめプーの指定管理者代表企業の株式会社光製作所様に大感謝です。



手にはニジマスつかんでます

いきいきふれあい事業

親子のふれあいと参加者相互の交流を目的とし、京都府及び京都新聞社会福祉事業団から後援・助成を受けて、楽しい企画を実施しています。

恐竜に会いに行こう!! 楽しみ! いきいきふれあい事業

宮津市母子寡婦福祉会 池田 有希

3年ぶりにいきいきふれあい事業に参加しました。天気にも恵まれ、バスで福井県の恐竜博物館へ行きました。子ども達も親達も動いている恐竜を見て、「すごい!!」と歓声が沸き起こりました。たくさんの人と限られた短い時間で、ゆっくりと館内を回るのは難しかったのですが、それでも楽しい時間を一緒に過ごすことができたことに感謝しています。

館内を見た後は、化石発掘体験!! 恐竜の骨、植物、貝殻、何の化石が見つけれられるか運試し。新しい恐竜の骨を発掘できたら、好きな名前をつけて登録できると言われ、夢中になって探しましたが、残念。骨を見つけることはできませんでしたが、植物の化石は何人か見つけ、持って帰りました。来年もみんな元気で楽しめるいきいきふれあい事業を楽しみにしています。



まるでいきているかのような動き



化石は見つかるかな

来年? 再来年? にも企画してほしい

城陽市母子寡婦福祉連合会 谷口 沙耶花

小学4年生と6年生の子どもを連れて30年ぶりに訪れました。関西サイクルスポーツセンターはとても楽しかった記憶があるので、我が子も連れて行ってやりたいと思うていましたが、運転に自信がないのでなかなか一人では連れて行くことが出来ず、今回やっとなんか一人で行くことが出来ました。

当日朝はあいにくの天気でしたが、現地に着く頃には雨も上がり、子ども達は思う存分楽しむことができたようです。

乗り物を全部制覇し、念願だったジェットコースターには何度も乗り、最後はおもしろ自転車コーナーで大人も子どもも童心に帰って楽しみました。いっぱい遊んだのに帰宅してすぐに子ども達は、また行きたい! と言っていたので、来年? 再来年? にもまた企画して頂けたらと思います。



各地域での行事のおしらせ

母子部交流会

- 北部 7月17日(日) 宮津シーサイドミッブル
- 中部 7月30日(土) 京丹波町新庁舎
- 南部 6月19日(日) 八幡市福祉センター

ブロック別懇話会

- 北部 7月17日(日) 宮津シーサイドミッブル
- 中部 10月開催予定
- 南部 9月25日(日) 精華町役場 交流ホール

当日の様子は次号でお知らせの予定です。

令和4年度 こどもの居場所づくり事業

夏休み等短期型(夏・冬・春の長期休暇期間で15日以上)

事業名	実施場所	実施日
八幡市こどもの居場所づくり事業	八幡市社会福祉会館	夏休み、冬休み等の日曜日等
福知山市こどもの居場所づくり事業	福知山市総合福祉会館	夏休み、冬休み等の土曜日・日曜日等
宮津市こどもの居場所づくり事業	宮津シーサイドマートミッブル クッキングルーム	夏休み、冬休み等の土曜日・日曜日等

休日等通年型(年間50日以上)

事業名	実施場所	実施日
向日市こどもの居場所づくり事業	まこと幼稚園幼児教育センター 永坪会館	毎週水曜日
大山崎町こどもの居場所づくり事業	大山崎町中央公民館 円明寺が丘自治会館	毎週水曜日・日曜日
城陽市こどもの居場所づくり事業	城陽福祉センター他	毎週日曜日
京丹波町こどもの居場所づくり事業「TMW」	丹波中央公民館 瑞穂ほほえみ 他	毎週土曜日 等
舞鶴市こどもの居場所づくり事業(西舞鶴)	西公民館	毎週火曜日・土曜日

母子連として居場所づくり事業に取り組んで10年目。

新型コロナ感染予防に心がけ、みんなの来るのを待っています。

生活充実通年型(年間100日以上)

事業名	実施場所	実施日
長岡京市こどもの居場所づくり事業	長岡京市梅が丘	毎月第4金曜日
パンプーガーデン	長岡京市久貝(みんなのお家)	毎週火曜日
アイリスガーデン	長岡京市東和苑(つなぐさん家)	毎週土曜日
宇治市こどもの居場所づくり事業(宇治北部)	宇治市五ヶ庄三番割集会所(おつぱく塾)	毎週水曜日・金曜日・土曜日
宇治市こどもの居場所づくり事業(宇治南部)	宇治市総合福祉会館	毎週金曜日・土曜日
木津川市こどもの居場所づくり事業	木津川市木津町南垣外17-1	毎週火曜日・土曜日
舞鶴市こどもの居場所づくり事業(東舞鶴)	南公民館	毎週金曜日・日曜日

新型コロナウイルスの感染防止の状況によって、実施日時等が変更となる場合があります。

ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

3月6日(日)、京都テルサで開催したひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどいに参加したお友だちが、絵日記にしてくれました。



参加のおともだちから 勉強会に入って

木津川市母子会 小学6年生 大谷 遥人

ぼくが勉強会に入って楽しいことは、勉強が分かるようになったことと、栄養的な食事をとれることです。

なぜなら、栄養的な食事をしてくれる人がいるし、先生の勉強の教え方がうまいからです。

ぼくは、この勉強会で勉強をして、行きたい中学校の受験に受かりたいです。他には「勉強が分からないよ。」という子に勉強を教えてあげたいからです。

このように、ぼくは勉強をして、「分からないよ。」と言っている人や中学校の受験に受かるため、勉強会に入ってよかったと考えています。



まいっ子落語発表会

舞鶴市母子福祉会 常塚 朋子

6月12日(日)に毎回居場所づくり事業をしている南公民館で、小学1年生のみくちゃんと高校生のせなちゃんが、毎週日曜日の居場所の後、昼から練習している落語の本番を迎えました。

みくちゃんは『いちご亭みるく』、せなちゃんは『かぐや亭らしか』で、浴衣を着て、堂々と語り、多くの人が、笑い、手を叩き、舞台上にプレゼントを持ってきて「良かった」と言ってくださいました。本当に普段できない経験をさせていただき、大人になった時に思い出して、自分の宝にしてほしいです。



居場所づくり事業に取り組んで

宮津市母子寡婦福祉会 宮崎 静香

宮津支会では、夏休み型の居場所づくり事業に取り組んでいます。お喋りを楽しみながら勉強をし、スタッフと一緒に昼食作りをしています。居場所づくりを立ち上げた当初は多くの参加者がありましたが、中学に上がると同時に部活で忙しくなり、年々参加者が減ってきている状況ではありますが、食育に力を入れており、今日は何を作ろうか、子ども達の好みを聞き、毎回楽しんで昼食作りをしています。

昨年からは野外活動を取り入れたり、ワークショップでミニ畳作りや自然の素材を使ったアクセサリーを作ったり今までにない居場所に取り組みました。令和4年度の居場所でもレザークラフトで小物を作ったり、親子で日頃の運動不足を解消するために野外活動を取り入れ、一人でも多くの人に参加してもらえる工夫をしています。今後も宮津支会ならではの取り組みが出来たらと思っています。



丹後のばら寿司作り



自然の木の実や枝でアクセサリー作り

新しい久御山町母子寡婦さつき会 3年ぶりにできたこと

久御山町母子寡婦(さつき)会 城戸 恵巴子

久御山町母子寡婦(さつき)会は、世代交代することになりました。今年度の役員さんは半数が母子部の方で、なかなか時間が取れないことと、こんな大役をしたことがない者ばかりということなどあり、今まで週2回開催していた「こどもの居場所づくり事業」を一旦止めることにしました。今までたくさんの方が利用していただきましたが、いくら考えても私達では今までのようには開催できないという答えになりました。又いつか地域の役に立てることがあれば良いと思います。

新型コロナの流行で、あまり集まることができなくて、2年続けて、書面決議でしたが、今年度3年ぶりに「総会」を開催することができました。久しぶりに会員さんの元気な顔を見ることができました。

そして寡婦研修を行うことができ、京料理を頂きながら、寡婦と新役員の親睦を深めることもできました。

当会では、町民プールの売店もしています。3年ぶりのプールなので「例年通り」とはいかないかもしれませんが、毎年子ども達が楽しみにしているプールなので、精一杯頑張りたいと思います。

最後になりましたが、役員が交代して大変な1年になりそうです。皆様の協力のもと、いろいろな行事も楽しく行いたいと思います。



寡婦研修



町民プール売店



受け取ったバトンを次の世代に

綴喜連合母子会 眞鍋 幸子

綴喜連合母子会は、京田辺市、八幡市、井手町、宇治原原町を地域とした母子会で、この度、会長を交代しました。中心となる京田辺市と八幡市も少し距離があり、お互い別々の行事も共同の行事もあります。

夏休みのこどもの居場所は、主に八幡市の開催です。少し落ち着いてきましたが、新型コロナウイルスの影響で活動も止まって、何も見えない、何かを発信することもできない中、前会長は食料品・生活必需品配布もいきいきふれあい事業も、今できることを全力でされて、会員さんを減らすことなく今回の役員交代となりました。はっきりいって不安はありません。でもつないでもらったバトンは、次につなげなければなりません。

私は、母子部ができた時の連絡員です。子どもを連れて会議に参加していました。わからないことばかりの中で仲間がいることの力強さを感じ、共感したり見習ったりして今がある気がします。

今は、母子会以外にNPOやボランティア団体など、居場所も子ども食堂もたくさん増えました。子どもの貧困、虐待、たくさんの課題の中、母子会にしかできないことって何だろう？

離別の母子寡婦が多い今、働くことは必然で、活動もなかなか大変です。

ラインやメールも活用して、まずは情報を届けることから始めようと思います。

京都府母子寡婦福祉連合会には、
18の支会があります。
各地域の支会の活動をご紹介します。

コロナ禍をみんなで一緒に 乗り越えよう！

相楽連合むつみ会 巴田 明美

相楽連合むつみ会は京都府南部に位置し、精華町、笠置町、和束町、南山城村の4町村で構成されています。

コロナ感染症などでの家計への影響を考え現在会費は頂いておらず、会員登録者の各種情報は公式LINEを活用しています。QRコードを読み取り、簡単に登録できるので情報発信、受信が手軽にできています。

現在主な活動は①いきいきふれあい事業②日常生活支援事業③フードパントリーです。コロナ禍で交流が難しいこの時期、特に③フードパントリーは各種団体や地域の方々からの協力を頂き、各町村役場に声をかけ多くの方に配布しています。「ありがとうございます。とても助かります。」「子どもたちも喜んでます。」「普段買えないものを頂けて嬉しいです。」と毎月多くの方の生活のプラスになり、大変喜ばれています。また、会内で学用品や衣類、おもちゃなど要らなくなったものをリサイクルし、コロナ禍を一緒に乗り越えています。

人の繋がりを大切に、みんなで助け合いながら、楽しい会になればと思っています。



フードパントリー



こどもの居場所づくり事業



いきいきふれあい事業

大人になると、保護者の同意なく 自分の意志で、様々な契約が できるようになります！

令和4年4月から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことにより、18歳で、法律上は大人として扱われるようになりました。

大人になると保護者の同意なく自分の意志で、様々な契約ができるようになります。(未成年であれば、保護者の同意を得ずに契約した場合は民法で定められた未成年取消権が行使できますが、大人になって契約した場合は行使できません。)



新成人の方へ

自分の判断だけで契約できるようになりますが、守るべき義務も発生します。

家庭用ゲーム機での オンラインゲームの課金に注意を！

家庭用ゲーム機でもインターネットに接続ができ、課金してアイテムなどが入手できるゲームがあります。

家庭用ゲーム機では、保護者用と子ども用のアカウントを分けて管理できるようになっています。予期せぬ課金を防ぐためにも、ペアレンタルコントロール機能を利用しましょう。(実際には子どもが課金したとしても、その証明は難しいため、未成年者取り消しが認められないことがあります。)



オンラインゲームのルールについて、親子でよく話し合うことが大切です。

明治時代から今日まで約140年間、日本での成年年齢は20歳と民法で定められていました。この民法が改正され、令和4年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に変わりました。

成年に達すると、親の同意がなくても、

- ・携帯電話を契約する
 - ・一人暮らしの部屋を借りる
 - ・クレジットカードをつくる
 - ・高額な商品を購入するのにローンを組む
- 等

こうした契約が自分一人ですることができるようになります。

フリマサービスのトラブルは 当事者間で解決することに

フリマサービスは個人間の取引です。トラブルが起きた場合は、原則として当事者間で解決が求められます。利用する際は、規約やガイドなどで、ルールやトラブル時の対応などについて確認しましょう。



出品する場合

規約などを確認し、汚れや傷などを含めた商品の情報をきちんと説明し、商品の状態をはっきりと伝え、誤解を招かないように注意しましょう。

購入する場合

受け取り評価をすると出品者に代金が支払われる仕組みです。受け取り評価をして取引完了になった後に問題に気付いても、出品者と連絡が取れないことやサポートが受けられないことがありますので、注意しましょう。

困ったときは、すぐにお住まいの自治体の消費生活センターなどにご相談ください。
(消費者ホットライン188)



昨年、こどもの居場所・母子会を中心に、食料品・生活必需品の配布を行いました。

もらった方からは「いつもなら買わないものをいただいて、うれしかったです。」、配った支会役員からは「これを機会に会うことができ、ほっとした。」などと、感想が寄せられました。



今年も昨年と同様、こどもの居場所等を中心に配布事業を行います。

日時や受け取り方法などはこどもの居場所によって異なりますので、地域の母子会にご確認ください。



京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会

昨年一昨年と新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となっております。

3年ぶりの今年度こそは、大会を盛り上げていきたいものです。子どもの意見発表や講演と、会場を盛り上げてくれるアトラクション！

みなさん！ぜひお出かけください。

日時 令和4年10月23日(日) 13時から16時

場所 ルビノ京都堀川(京都市上京区)

※今回は例年の会場と異なりますので御注意ください。



日常生活支援事業 支援員さんになりませんか？

支援員としてお手伝いくださる方を募集しています。

生活援助

旧訪問介護員(ホームヘルパー)3級以上、介護職員初任者研修修了、介護福祉士実務者研修修了、看護師、介護福祉士又は社会福祉士

子育て支援

子育て支援講習会受講・修了、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、看護師、ファミリーサポート事業の支援者、児童厚生二級指導員又はチャイルド minder 等子育てに関する資格を有する方

お気軽にお問い合わせください
京都府母子寡婦福祉連合会事務局
(電話075-223-1360) まで



あなたも「母子会」に入りませんか？

母子会は、あなたと子どもたちが安心して暮らせる社会づくりを目指して活動しています。あなたの近くにも母子会があります。どうぞお気軽にお問い合わせください。お問合せは、各地域の母子会または京都府母子寡婦福祉連合会事務局(電話075-223-1360)まで



賛助会員募集中

ひとり親家庭の人々へそれらの家庭にあつて育ちゆく子どもたちへご理解・ご支援をいただける方を賛助会員としてお迎えするため会員の皆様の賛助会員募集の取組みをお願いします。賛助会費1口1,000円/年

今年は空梅雨で、暑い日が続いていますが、皆様お元氣でお過ごしですか？

先日、台風が心配されたのですが、いきいきふれあい事業で関西サイクルスポーツセンターに行きました。コロナ禍でいろいろなことが制限される中、親子の楽しそうな笑顔を見ることができ、実施できたことを大変嬉しく思いました。まだまだ暑い日が続きますが、身体に気をつけて、皆さまの幸せを願って頑張っていきたいと思います。(小木曾)

社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 佐竹 幸子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<https://hitorioya.kyoto/>

